

ものやおかねについて考えてみよう!!

第36回

# 「おかねの作文」 コンクール

作品募集中



たとえばあなたは、  
もらったお小遣いをどのように使っていますか？  
「おかね」を上手に使っていますか？  
高価なものを欲しくなったら、どうしますか？  
おかねを貯めて、増やすにはどうしたらよいですか？  
必要のないものを買ってしまったたり、買わされたり  
したことはありますか？  
銀行はどのようなところが知っていますか？  
契約、利子、流通、株式といった言葉を身近に感じ  
たことはありますか？

金融広報中央委員会、毎日新聞社主催、「おかねの作文」コンクールは今年で36回目を迎えました。  
昨年度は全国の2万人以上の小・中学生が、おかねやものを大切にすることについて考えてくれました。  
今年度から作品の募集は中学生のみとなりましたが、昨年と同様、多くのみなさんからの応募をお待ちしております。

わたしたちの身の回りには、様々な物やサービスがあふれ、生活は大変豊かで便利なものになりました。  
そしていま、わたしたちは、「おかね」が社会で果たす役割を理解し、金融や経済の仕組みについての知識を身に付け、自分で適切な判断をして行動できる消費者になることが求められています。  
金融広報中央委員会と毎日新聞社は、こうした生活に身近な金融や経済にかかわる作文を募集しています。  
自分が「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自由に書いて下さい。(詳細は裏面)

# 第36回「おかねの作文」コンクール 応募要領

**応募資格** 中学生（小学生の応募は受け付けておりません）

**テーマ** （次のうちから1つを選んで下さい。作文のタイトルは自由）

- ①わたしたちの暮らしと金融とのかかわり
- ②もしも、この世にお金がなかったら
- ③もしも、この世に銀行がなかったら
- ④働くことの意味
- ⑤わが家の収入と支出
- ⑥悪質商法

**応募規定**

- 400字詰め原稿用紙4～5枚
- 原稿には選んだテーマと作文タイトル（自由）、学校名、学年、氏名（ふりがな）をはっきりと書いて下さい。また、同内容のほか、生徒の自宅および学校の住所、電話番号を記入した別紙を同封してください
- 作品は未発表のものに限ります。
- 応募原稿は返却いたしません。

**しめきり** 2003年9月5日（金）※当日消印有効

**送り先** 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
毎日新聞社学生新聞本部「おかねの作文」係  
(TEL. 03-3212-0267)

**発表** 2003年10月27日（月）の毎日新聞、毎日中学生新聞紙上  
(なお、特選作品は金融広報中央委員会のホームページ、毎日中学生新聞に掲載されます)  
※入選作の著作権は主催者に帰属します

**賞**

- ◎特選（各賞1名に賞状と賞品）
  - 金融担当大臣賞
  - 文部科学大臣奨励賞
  - 日本銀行総裁賞
  - 日本PTA全国協議会会長賞
  - 金融広報中央委員会会長賞
  - 毎日新聞社賞
- ◎秀作（5名に賞状と賞品）  
毎日中学生新聞賞
- ◎佳作（50名に賞状と賞品）

